

園児のバス置き去りを防止！

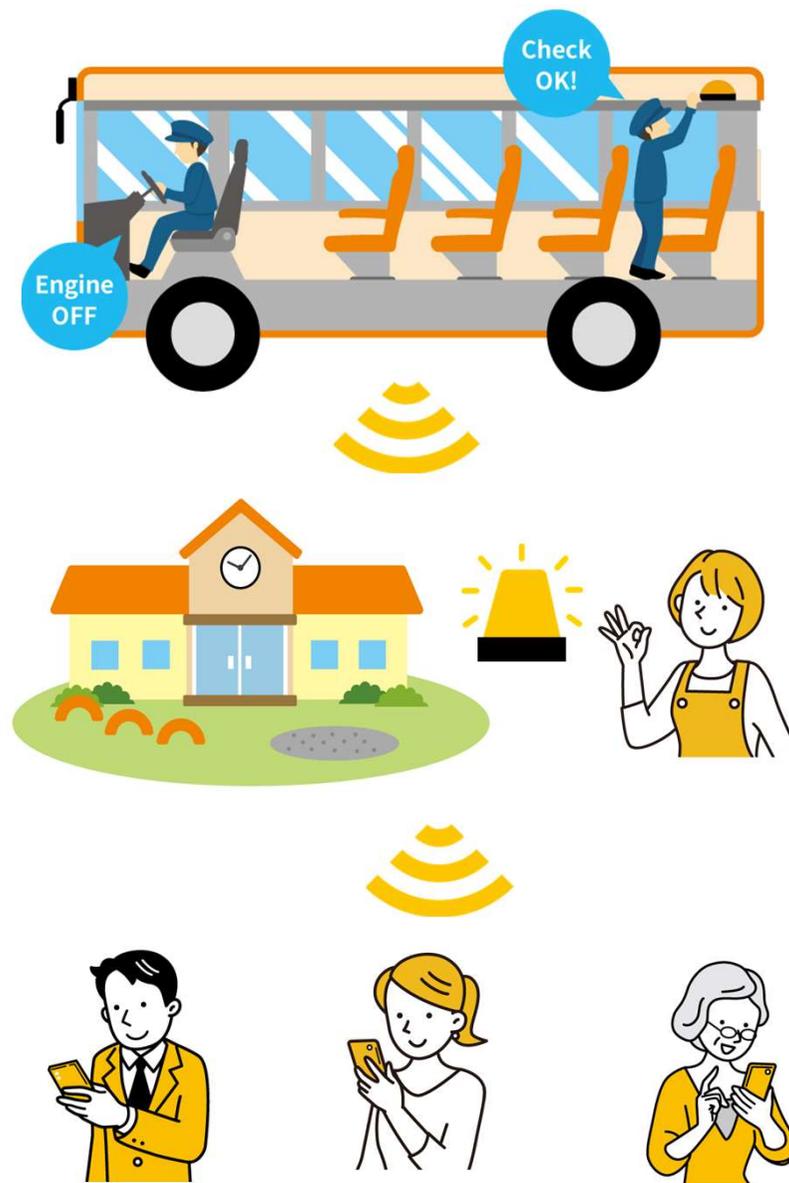
通園バスの置き去り 事故防止システム GW-SOS2022

2人の子を持つ父親です。
「確実性」と「導入のしやすさ」との
両立を考えて開発しました。



開発者／代表 田畑 雅弘

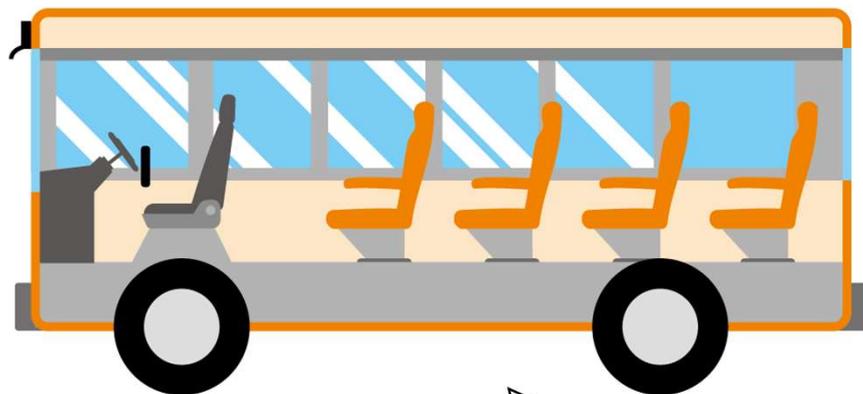
GREEN WORKS



GW-SOS
2022の
機器配置図

車内と園舎、機材を効率よく分散することで、「確認の怠りの防止」と「簡単操作」を両立！

送迎バス内



エンジンスタータス
送信機



後方確認ボタン
(電池レス)



緊急ボタン
(電池レス)



職員室内



受信
アンテナ



メイン
コントローラー



第1の
回転灯



第2の
回転灯



緊急
ブザー



1台分25万円+税(設置費込)

2台目以降は1台つき10万円追加

GW-SOS
2022の
ここがスゴイ！

①置き去りを防ぐ鉄壁のフロー

②車内は完全に電池レス

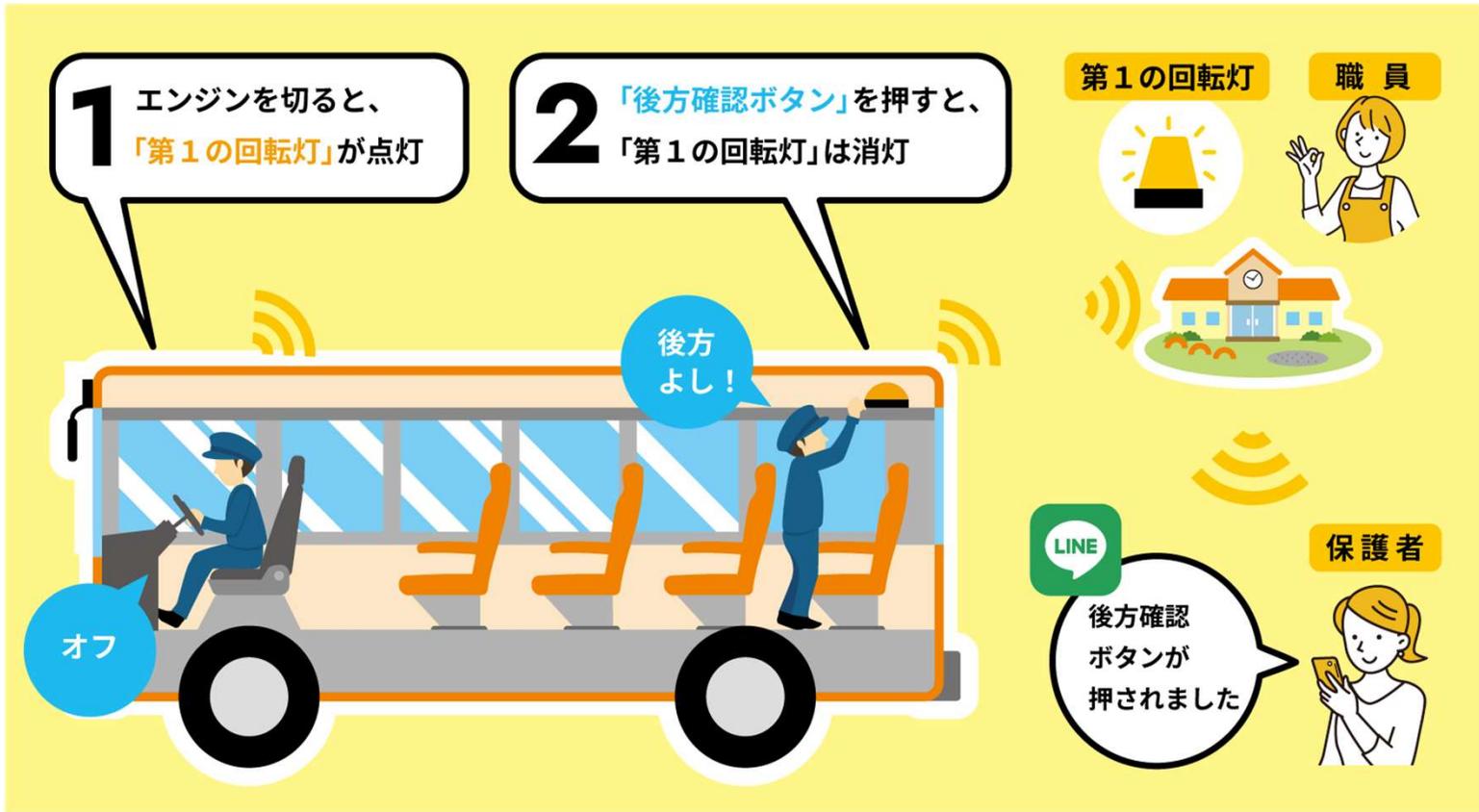
③機材を効率よく分散

④保護者にLINEで通知

⑤記録はGoogle・シートにリアルタイム打刻

⑥機器が故障してもすぐに気づく

置き去り
防止の
フロー



本システムは
国土交通省の
ガイドライン基準を
満たしております。

フロー



①エンジンを切ると…

エンジンを切った信号が発信。
「第1の回転灯」が点灯します。
これにより園内の職員は、バスが到着したことを知ります。



②後方確認ボタンを押す

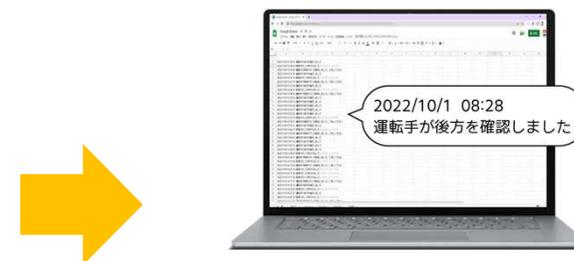
次に車内の最後部に設置された「後方確認ボタン(電池レス)」を押します。
これにより「第1の回転灯」が消灯。

園内の職員は後方確認ボタンが押されたことを知ります。



③保護者にLINE通知

「エンジンを切りました」
「後方確認ボタンを押しました」などのメッセージが、保護者にLINEで送られます。
バスの状況を保護者もリアルタイムで知ることが可能です。



これらのメッセージは保護者のLINE同様に、職員のパソコンに、Google Spread Sheetsを使って自動的に打刻されます。
パソコンの電源がオフの状態でも記録可能です。

幾重もの セーフティ ネット

①：運転手が後方確認を怠った場合・・・

「第1の回転灯」が点灯したまま。周囲の職員が異変に気付きます。



②：職員が第1の回転灯に気づかなかった場合

後方確認ボタンが押されずに一定時間が経過した場合、**発報状態**に移行します。

「第2の回転灯」が点灯し、**大音量ブザー**も鳴ります。



③：園児が閉じ込められた場合…

万が一に備えて、車内に「**緊急ボタン**」を用意。
これを押すと、無条件で上記の発報状態となり、
「第2の回転灯」やブザーが始動します。



機器の
トラブルを
極限ゼロに！



バス車内は完全電池レス

本システムにおけるバス内の装置は、電池を一切必要としません。
●乾電池 ●ボタン電池 ●カーバッテリー どれも使いません。

センサーやカメラを使った他社のシステムの場合、
電源としてカーバッテリーを使用していることが大半です。
「省エネ」をうたっていても、いつかはバッテリー上がりを起こします。
「夏休みの間は電源を切って下さい」という装置もあるようです。



故障に気づきやすい

車のエアバッグのように、事故が起きるまで正常に作動するかどうか
わからない仕組みではいざという時に役に立ちません。
本システムは、機器の故障に気づきやすくなっているのも特長です。